

【目的と概要】

生徒個人におけるステップの効果測定し、事業の成果を測り、事業の質の向上につなげることを目的とする。本案件は高浜市委託事業の中で実施し、主に高浜市福祉部地域福祉グループと共同で評価指標を作成する。また指標作成においては愛知教育大学の高綱睦美氏監修のもと検討する。

【指標案】

1. ステップにおける評価指標

第1指標：社会的自立（貧困の連鎖が断ち切れているか）

測定基準...特別な理由なく不定就労状態でないか

測定時期...年度末に状況確認（メール、電話、手紙等）

測定方法...追跡調査により測定

対象者...ステップを卒業した生徒

第2指標：進路決定状況（中学校及び高校卒業時に将来貧困に陥るリスクを回避できているか）

測定基準...高校等進学ができているか、進路未決定状態でないか、中退をしていないか

測定方法...学校情報及び本人へのアンケート調査により測定

測定時期...年度末に情報集約、本人へのアンケート実施

対象者...中学3年生および高校3年生

第3指標：生徒の成長・変容（第1・第2指標を達成するために必要な力が付いているか）

測定基準...①学力 成績（内申点、テスト順位）、学習意欲、学習習慣

②社会性 援助関係態度・人間関係能力、将来展望態度・将来設計能力

③人間性 自己肯定態度・自己発揮能力、楽観思考態度・問題対応能力

測定方法...①は成績情報及び本人へのアンケート調査により測定

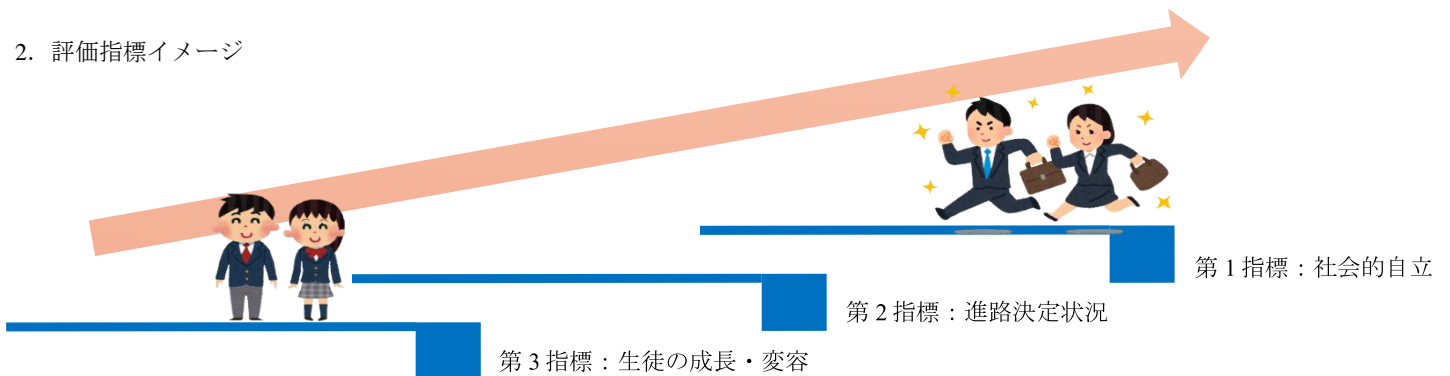
②③はキャリアレジリエンス（変化する社会のなかで、困難な状況にあっても、それを乗り越えて、自分なりのキャリアを創造していく力）を態度と能力の2つの尺度から測定する。本人アンケートによる自己評価、事業運営者及びチャレンジサポーターによる他者評価、学校からの所見情報、昼食支援団体へのヒアリング調査により総合的に測定。

測定時期...学校情報：生徒所見...学期ごと、内申点...学期ごと テスト順位...テストごと

その他アンケート等は9月末、年度末に実施

対象者...全生徒

2. 評価指標イメージ



3. 運用時期

第1指標については、30年度に追跡調査策定予定、31年度に追跡調査運用予定である。第2指標、第3指標については、29年度評価指標策定、30年度評価指標運用予定である。